

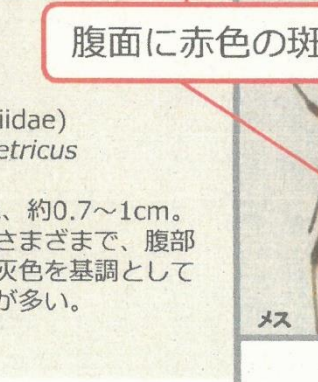



セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ にご注意ください！

背面	腹面	和名 セアカゴケグモ 科名 ヒメグモ科 (Theridiidae) 学名 <i>Latrodectus hasseltii</i> 原産地 オーストラリア 特徴 成熟した雌の体長は、約0.7~1cm。 全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に 目立った赤色の縦条がある。 ※左写真は、若い個体であり、 成熟すると白い斑紋は消える
 <p>メス</p> <p>背面に赤色の縦条</p>	 <p>メス</p> <p>腹部は大きな球状</p>	
<p>和名 ハイイロゴケグモ 科名 ヒメグモ科 (Theridiidae) 学名 <i>Latrodectus geometricus</i> 原産地 亜熱帯地方 特徴 成熟した雌の体長は、約0.7~1cm。 ハイイロゴケグモの色彩はさまざまで、腹部 背面が真黒のもの、茶色や灰色を基調として 斑紋を有するものなど変異が多い。</p>	 <p>メス</p> <p>腹面に赤色の斑紋</p>	 <p>メス</p> <p>背面</p>

ゴケグモの被害について

※毒をもっているのは雌だけです

咬まれたときの症状

- 局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結、区域リンパ節の腫張が生じます
- 通常は数時間から数日で症状は軽減しますが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがあります
- 重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じます

咬まれた場合は

- 咬まれたときは、すみやかに医療機関にご相談ください
- 重症化した場合は抗毒素血清による治療が必要です
- 咬んだクモの種類がわかるように、できれば殺したクモを病院へご持参ください

咬傷例

- ゴケグモは攻撃性はありませんが、触ると咬まれることがあります
- 日本では主に6~10月にセアカゴケグモの咬傷例が報告されており、ほとんどが軽症ですが、重症化することもあります
- 日本ではセアカゴケグモの毒で死亡した例はありませんが、オーストラリアでは死者が出ています
(血清開発後の死亡例はありません)